

2023年7月10日

アウディ、e モビリティに関する 500 人の新たな雇用を創出

- 電気自動車 Q6 e-tron 生産開始に伴い、インゴルシュタット拠点で生産スタッフの募集開始
- ハビエル ロス：e モビリティへ移行するプロセスで、多くの雇用と新たな仕事を創出
- e モビリティ専門職の雇用の創出に加え、未来の分野で従業員の資格取得を引き続き推進

(ドイツ本国発表資料) 2023年7月6日、インゴルシュタット：アウディは、プレミアムプラットフォームエレクトリック (PPE) をベースにした新型 Audi Q6 e-tron シリーズの生産を開始し、アウディ史上最大の戦略的なモデル投入を始めます。このインゴルシュタットで生産される初めての電気自動車は、アウディが e モビリティの新時代に向けて、従業員をどのように確保し、資格を向上させているのかを体現しています。

AUDI AG 最高人事責任者(CHRO) ハビエル ロスは、次のように述べています。「私たちの新しい電気自動車 Audi Q6 e-tron の生産により、500 人の新しい雇用が創出されます。これは、アウディによる e モビリティへの移行が、雇用創出の原動力となっていることを示しています。多くの雇用を保証しながら、新たな雇用を創出することで、ドイツのインゴルシュタット拠点における雇用の安定性が高まります。そのため、アウディは既にインゴルシュタットで働いている臨時従業員に対しても、正規雇用への転換を働きかけています。

e モビリティ専門の雇用の創出に加え、e モビリティへの移行には労働力の変革が不可欠です。ロスは、次のように付け加えています。「アウディの e モビリティへの移行は、資格を取得し、専門知識を習得するために自己研鑽を続ける当社従業員の力によって可能になります」。この目的を達成するため、アウディは、従業員に数多くのトレーニングと能力開発の機会を提供しています。その焦点は、既存の従業員を育成し、新しいタスクに対応できるようにすることです。Audi Q6 e-tron シリーズの発売に先立ち、過去 18 か月間でインゴルシュタット拠点の生産、技術開発、セールス部門の約 8,300 人の従業員が新たに資格を取得しました。AUDI AG は、2022 年だけで従業員のトレーニングと能力開発に約 1 億 5,000 万ユーロを投資しました。また、Audi Q6 e-tron の電動ドライブトレインを製造しているアウディ ハンガリーのジェールでも、2022 年から約 2,000 人の従業員が電動化のためのトレーニングを受けています。

Audi Q6 e-tron シリーズの生産開始により、インゴルシュタットのアウディ本社工場は、独自のバッテリー組立施設を有するドイツ初のアウディ拠点となります。「私たちは、e モビリティへの構造的移行を積極的に進めています。バッテリーの組立により、インゴルシュタット拠点では、すでに 300 件の魅力的で将来性のある仕事が創出されています。同時に、アウディのすべての工場で、電気自動車の生産に活用される貴重なノウハウも創出されています。アウディは、電動化への移行に伴い、世界規模の生産ネットワークを包括的に再構築しています。AUDI AG 最高生産責任者(CPO) ガード ウォーカーは、インゴルシュタットにおけるバッテリー組立もその一環だと説明しています。

360factory：アウディにおける生産の未来

アウディは電動化戦略 Vorsprung 2030 に基づき、内燃エンジンを段階的に廃止する決定を、早い段階で行いました。この決定に基づき、アウディはすべての拠点で電気自動車の生産準備を進めています。これにより、2020 年代の終わりまでに、世界中すべてのアウディ拠点で、少なくとも 1 車種の電気自動車が生産されることとなります。アウディは、施設の改修を通じて、工場および生産プロセスを包括的に見直しています。

アウディの生産部門は、360factory 戦略の一環として、工場の変革に意欲的な目標を設定し、その実現に向けて総合的なアプローチを行っています。最適な生産プロセス、効率向上の基盤としてのデジタル化、持続可能で強靱なサプライチェーン、柔軟性の高い生産ネットワーク、明確な持続可能性目標は、ガードウォーカーが重視している戦略的分野の一部です。ロスは、次のように説明しています。「同時に、私たちは生産拠点で新たな雇用の機会を創出しています。その理由は、私たちが既存の生産ネットワークの中で、従業員と協力しながら変革に取り組んでいるからです」。次のステップとして、アウディはインゴルシュタット拠点に、今後発売される電気自動車のモデルシリーズ向けに、独自のバッテリーモジュール生産施設をつくる予定です。

目的を絞った雇用創出

アウディは生産分野における雇用創出活動の一環として、金属加工または電気に関するトレーニングを受け、専門的な経験を備えた新たな従業員を募集しており、現在、オンラインで申込みを受け付けています。第一次選考面接は、2023年7月21日にインゴルシュタットのアウディ本社で行われます。今後の日程は、同ウェブサイト上に後日発表されます。応募者は、申請書を提出し、事前選考プロセスを通過した後、対面による選考面接が行われます。

アウディはまた、車両のデジタル化に向けてソフトウェアの専門知識を継続的に蓄積しており、技術開発のためのソフトウェア専門家の雇用が本格化しています。Audi Job Portal で募集中の役職に応募することもできます。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン 広報部

アウディ ジャパン プレスサイト
<http://www.audi-press.jp/>

報道関係者お問い合わせ：
<https://audi-press.jp/contact/>

お客様問い合わせ：
アウディ コミュニケーション センター
0120 - 598106



アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、13カ国22か所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界100以上の市場に存在しています。2022年、アウディ グループは、161万台のアウディ、15,174台のベントレー、9,233台のランボルギーニ、および61,562台のドゥカティを販売しました。2022会計年度において、アウディ グループは総収益61.8億ユーロ、営業利益7.6億ユーロを達成しました。世界中で、アウディ グループでは2022年に87,000人以上が働き、そのうち54,000人以上がドイツのAUDI AGで働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。
